

学校法人専修大学役員改選

新理事5人、新監事1人

学校法人専修大学の役員を選任は、寄附行為第8条第1項に定めるところによる、第1号(総長)は空席、同第2号の専修大学長、石巻専修大学長、専修大学北海道短期大学長は任期中のため、今回は改選の対象とならない。

改選の対象となったのは、同第3号(評議員のうちから評議員会において選任)と、同第4号(学識経験者として理事会において選任)に定める理事及び第9条の監事(評議員会において候補者を選出し、理事長が選任)で新理事が5人、新監事が1人。任期はいずれも11月3日から3年間。

●役員

(再=再任/敬称略)

理事長 日高 義博(新)

理事 日高 義博
(専修大学長)

理事 小林 陵二
(石巻専修大学長)

理事 泉 武夫
(専修大学北海道短期大学長)

理事(専務)三島 英雄(再)
(渉外、校友・育友担当)

理事(専務)富山 尚徳(再)
(総務担当)

理事(常務)大場 徳敬(再)
(石巻専修大学、企画担当)

理事(常務)佐藤 猛(新)
(財務、体育担当)

理事(常務)田中 實(新)
(専門職大学院、学生生活、就職担当)

理事(常務)松木 健一(新)
(学務担当)

理事 波岡 實(再)

理事 岡村 誠男(再)

理事 橋元 雅司(再)

- 理事 小豆畑 孝(再)
- 理事 宮岡 孝之(再)
- 理事 甘竹 秀雄(再)
- 理事 桃野 直樹(再)
- 理事 木幡 文徳(再)
(法学部長)
- 理事 川村 晃正(再)
(商学部長)
- 理事 齋藤 雄志(再)
(ネットワーク情報学部長)
- 理事 室井 義雄(再)
(経済学部長)
- 理事 廣石 忠司(再)
(経営学部長)
- 理事 矢野 建一(再)
(文学部長)
- 理事 高橋 祐吉(新)
(副学長)
- 理事 湯浅 敏明(新)
(専修大学北海道短期大学担当)
- 監事(常勤) 白根 修(新)
- 監事 大津 學(再)
- 監事 小宮多喜次(再)
- 顧問 出牛 正芳(新)
- 顧問 小川 市郎(新)

●新役員の紹介

佐藤 猛氏(さとう・たけし)

本学法学部卒業。監査室長などを歴任。(学)専修大学附属高校監事、(学)玉名学園監事。59歳。

田中 實氏(たなか・みのる)

本学経営学部卒業。法科大学院事務部長などを歴任。(学)玉名学園評議員。59歳。

松木 健一氏(まつき・けんいち)

本学法学部卒業。学長室長などを歴任。(学)専修大学松戸高校理事。55歳。

高橋 祐吉氏(たかはし・ゆうきち)

東京大学経済学部卒業。博士(経済学)。副学長。59歳。

湯浅 敏明氏(ゆあさ・としあき)

本学法学部卒業。秘書室長兼総合企画広報室長。(学)専修大学松戸高校評議員。54歳。

白根 修氏(しらね・おさむ)

本学法学部卒業。(学)専修大学常務理事などを歴任。(学)玉名学園理事・評議員。59歳。

創立130年記念事業

初の「ホームカミングデー」開催

創立130年記念事業の一環として、卒業生を大学に招く「卒業生の集い ホームカミングデー2006」が、鳳祭期間中の11月4日に235人が参加して生田キャンパスで初めて開かれた。

オール専修交流レセプションで日高義博学校法人専修大学理事長・専修大学長は、「卒業生の皆さんに、久しぶりに大学に戻っていただき、交流していただきたいと企画しました。建学の精神の実現は卒業生の活躍があつてこそ、初めて意味をなします。オール専修のパワーを花開かせるため、大学と卒業生とが強く連携して頑張っていきましょう」と歓迎のあいさつ。

甘竹秀雄校友会会長は、「専修大学を思う校友の皆さんに全国各地から集っていただき、2009年の創立130年に向けて、校友会として、大学を盛り上げていきたい」とあいさつ。全学応援団チアリーダーが元気あふれる演舞を披露した後、ジャズボーカリストのやまときょうこさん（平3商）が、伸びやかな歌声でアトリウムに集う卒業生を包みこんだ。

参加した卒業生とその家族らは終了後、図書館や総合体育館の見学や、鳳祭の出店をのぞくなど久しぶりの母校を満喫していた。

今回はサークル・クラス等のOB会にも教室を開放、卒業生や現役生も好成績をあげているサーフライフセービング愛好会（関連記事11面）などが旧交を温めていた。



日高理事長・学長



甘竹校友会長



▲やまときょうこさんのライブ



▲全学応援団のリードで校歌斉唱

玉名高校が創立40周年

専修大学玉名高校(熊本県玉名市・久和基利校長)の創立40周年記念式典・祝賀会が11月2日、盛大に行われた。

735人が出席して玉名市民会館ホールで行われた記念式典では、潮谷義子熊本県知事(代読)、島津勇典玉名市長からの来賓祝辞が述べられた。その後、記念講演会で日高義博学長が「高等教育と私学の使命」をテーマに講演した。

司ロイヤルホテルで行われた記念祝賀会では、県民文化賞を受賞した吹奏楽部がアトラクションを披露し、40周年に花を添えた。



▲祝辞を述べる日高专修大学長



▲吹奏楽部の演奏が花を添えた

本学法科大学院がネブラスカ大と覚書

法曹教育で日米協力

国際交流協定校のネブラスカ大学リンカーン校(米国)のロースクールと本学法務研究科(法科大学院)が、現在両大学間で締結している国際交流協定書の附属文書である「覚書」を9月15日付で取り交わした。

この「覚書」は今後両大学間で、特に法曹教育に特化した交流を推進していくことを目的としており、本年4月に弁護士でもあるネブラスカ大学のジェームズ・ミリケン総長一行が本学を表敬訪問した際、平井宜雄法科大学院長らと会談したことがきっかけとなった。

今後法科大学院では、英語による授業を設置するなど、科目の相互交流を活発化させる予定。

広田康生教授が学位を取得

広田康生文学部教授＝写真＝が9月30日付で立教大学から、博士(社会学)の学位を授与された。

学位論文名は、「エスニシティと都市」。

